

# 常任委員会審査レポート

各委員会に付託された議案等について、議会最終日に委員長が審査経過と結果を報告します。



来年度の取り組み等を勘案し、第一中学校区、大島中学校区、栄中学校区を選んだこととした。



教育費について、三条市総合体育館の女子トイレの改修工事期間は11月27日から12月25日までで、元旦マラソンには利用できるようにしたいとのことでした。



繰越明許費について、吉ヶ平周辺整備事業は降雪により年度内に工事の完了ができないため、26年度に建築工事を行い、27年の雪解け後にオープンさせたいとのことでした。

していくことが大切と考えている。

## 栄インター周辺開発の適期は今！

製造業振興策を引き続き強化する一方、他の産業振興策も積極的に展開すべきだ。ネット販売の急成長に伴い、物流業が飛躍的に伸びている。アマゾンをはじめ大手が拠点施設の全国展開を急いでいる。栄スマートインターは関越、北陸両自動車道の接続点に近く、周囲には広大な農地が広がっている。大規模物流施設に最適な場所であり、開発を急ぐべきだ。DENAは新潟市にカスタマーサポートセンターを設置した。視野狭窄にならず、新しいビジネスモデルなどを三条に呼び込む努力が必要だが、どう考えるか。

より意欲的に新しい産業を取り込んでいくためにも対外的な活動が必要と思っている。栄インター周辺に関しては具体的な話があれば判断する。種探しに意欲的に取り組んでいきたい。

## 新潟空港への新幹線乗り入れ促進を

上越新幹線の新潟空港乗り入れ促進を強く訴えるべきだが、どう考えるか。

三条市も新潟空港整備推進協議会に加入している。引き続き沿線市町村と連携し、国県に働きかけて行きたい。

## 外資による山林買収防止と水資源の保全について

県からの説明と市の対応はどうか。県は条例化に向かっていて、県条例を支持していきたい。

## 中山間地と限界集落について

労働力不足、高齢化などで農地、山林の荒廃が進む中山間地の振興と限界集落の対応はどうか。

社会福祉協議会と連携して生活維持を図り、辺地総合計画もあり有効な対策に取り組んでいきたい。

## 人口増対策について

人口増加プロジェクトチームを立ち上げてはどうか。いい湯らていに足湯の設置はどうか。

一体的、面的な観光戦略を構築し、足湯は検討していきたい。

## 冬場の安全対策について

降雪期を迎え登下校の安全対策はどうか。学校構内の消雪パイプの点検状況はどうか。

中学校は冬場の自転車禁止など安全対策の徹底を指導している。消雪パイプは試運転やノズルの調節などの点検をしている。

## 元旦マラソンについて

コース整備、トイレ、駐車場の確保はどうか。スタート前に天候、道路状況を確認している。トイレは総合体育館と文化センターに。駐車場は28カ所700台を確保している。



今日からがんばる元旦マラソン

## 南小学校の跡地利用

跡地に市立保育所として存続させていく。嵐南保育所の移転を検討しているとのことだが、特徴ある保育所の計画はあるのか。

築41年経過した現在の嵐南保育所を旧南幼稚園園舎の部分に移転を検討しているところ。嵐南保育所を含め公立保育所の果たすべき役割は、市

が進めていく「年中児」発達参観や幼児期の発達支援教育など、三条市の幼児教育全般の推進をけん引していくことである。

## 農産物加工施設の老朽化

地域にあつては大切なみそ作りの施設が老朽化している。農産物加工施設の代替施設をどのように考えているか。

来年度は市で運営。施設についてどのような方針でいくか、荒沢小学校跡地の活用も含めていろいろな可能性を排除しないで検討していきたい。



老朽化した農産物加工施設

## がん検診の受診率向上へ

がん検診の受診率アップのための個別受診勧奨を推進してはどうか。

無料受診クーポン券の配布により、わずかでありますが受診率が向上している。現在、クーポン券の未利用者に対して個別受診勧奨を検討している。

## 校舎修繕

森町小・荒沢小統合に向け  
総務文教常任委員会 森山 昭 委員長

議第1号三条市職員の給与に関する条例の一部改正について、新採用職員の採用に影響を及ぼさないように再任用制度の在り方を検討した上で、期限付任用職員相当職の給料を付け加えさせていた。ただ、言い換えれば定年退職で再任用される人の多くは期限付任用職員と同じ仕事をしていた。この点を含め、また、再任用希望者は法の趣旨を鑑み、基本的には積極的に対応していく考えであるとのことでありました。

議第15号平成25年度三条市一般会計補正予算では、勤奨退職について、年齢構成のバランス等を考え組織の維持向上を図っていくため、今回実施したとのことでした。

次に、小中一貫教育推進事業について、文部科学省委託事業で小中一貫教育の効果を検査評価するため教職員、児童生徒、保護者の約7000人を対象にアンケート調査を実施したい。また、当事業の重点協力校として小中一貫教育の進め方やこ

## ピッカピカに☆ 総合体育館の女子トイレ

市民福祉常任委員会 野崎正志 委員長

議第2号三条市営住宅条例の一部改正について、優先入居の対象となる証明は本人の申し立てだけでは難しいため、女性相談や配偶者暴力相談支援センター、警察、裁判所の保護命令などを捉えながら判断していきたいとのことでした。

議第7号三条市槻の森斎苑の指定管理者の指定について、利用者のアンケート調査により改善してほしいようなものは極力対応している、よりよい施設運営を実施することとした。

議第12号三条市リージョンセンターの指定管理者の指定について、当該団体は自主的事業の展開が難しいこと、収支の状況で支出が少し上回っていたため管理運営状況評価が低かったが、今回の応募時には自主的な事業の提案などがあつたことからお願いすることとしたとのことでした。

議第15号平成25年度三条市一般会計補正予算の民生費について、生活保護費の償還金が生じた理由は現在の生活保護状況は今まで微増傾向だったものが少し減ってきていることから、国に報告した見込みよりも少なかったためとのことでした。

## テレビ放映 八十里越物語プロジェクト

経済建設常任委員会 武石栄二 委員長

議第3号勤労者福祉共済条例について、死亡弔慰金を減額したのは、あくまでも弔意を示すというところで、給付と掛け金のバランスや他市との均衡を勘案した結果であるとのことでした。

議第8号から議第11号の各指定管理者の指定のうち鍛冶道場について、新人育成事業として燕三条工場の祭典に参加したり研修を行っているが、今後も鍛冶集団と連絡を密にして後継者育成に取り組んでいきたいとのことでした。

農業体験交流センターサンファームについては、施設設置目的に合った利用増加を期待できる具体的な提案があつたため、今回指定管理者を変更した。また、指定管理者内での責任の所在については、出資割合によって分担することとした。

議第15号平成25年度三条市一般会計補正予算の商工費、八十里越物語プロジェクトについて、八十里越の起点となる下田地域へ足を運んでいただくきっかけとすることを目的としているため、各企業にも協賛の依頼をしているが、三条市としては総事業費930万円のうち100万円を協賛することとした。

繰越明許費について、吉ヶ平周辺整備事業は降雪により年度内に工事の完了ができないため、26年度に建築工事を行い、27年の雪解け後にオープンさせたいとのことでした。